

第1回「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画策定部会 議事要旨

日時：令和2年9月1日（火）午前10時～正午

場所：あべのルシアス12階 第1・2会議室（部会委員はWebにて参加）

議題：「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画（素案）について

出席者

（委員）惣田部会長、島田委員、田中委員、吉積委員

（事務局等）堀井理事兼エネルギー政策室長、池上環境管理部長、三原環境施策課長、永長エネルギー政策担当課長、平岡都市間協力担当課長、吉村企画課長、宮崎家庭ごみ減量課長、松井土壌水質担当課長、奥田大阪府環境保全課長 他

配付資料

次第

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画策定部会委員名簿

資料1 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画 素案

資料2 大阪市環境審議会（令和2年7月29日開催）委員意見について

資料3 水環境に係る目標設定について

資料4 今後のスケジュールについて

報告内容

資料1により、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画素案について

資料2により、令和2年7月29日開催の大阪市環境審議会での委員意見及び事務局の考えについて

資料3により、水環境に係る目標設定について

資料4により、今後のスケジュールについて

主な意見

○プラスチックごみに係る目標の設定について

- ・プラスチックごみに係る目標はどうなるのか。
- ・削減対象となる大阪湾へ流入するプラスチックごみの大きさやごみ量の把握方法を明確にすることが必要。
- ・大阪湾への流入は降雨後が多くなることが分かっている。調査についても晴天時だけでなく、降雨後にも調査することが必要。

○水環境に係る目標の設定について

- ・オンラインでのアンケートは、母集団に偏りが生じるため目標を設定するには適していない。
- ・回答数については十分な数を確保することが必要。
- ・満足度を評価する際に、満足とやや満足に重み付けをするのか、また、設問

ごとの重み付けをするのかについて検討が必要。

- ・水資源の有効利用については市民の認識が低いと思うので、アンケートにおいて工夫が必要。
- ・市民がどの質問項目を重要と考えているかを問うことが必要。
- ・アンケートの結果を数値化する方法等を計画の巻末などに示すことが必要。

○指標について

- ・P21まちの美化に関する指標については、まちごみの収集量などを設定できないか。
- ・P23環境教育・啓発に関する指標については、客観的な指標を設定できないか。
- ・P27新たなペットボトル回収システムの指標については、回収量よりも回収率が良いのではないか。
- ・P34快適な水辺空間の保全・創造に関する指標については、水辺空間の面積などを設定できないか。

○推進体制について

- ・SDGsの3側面との関りについても記載が必要。
- ・P41のつなげるイメージ図を市民、NPO、企業、研究機関、行政などに区分してはどうか。
- ・府市が連携した取り組みの推進が必要なことから、市の庁内推進体制と大阪府の庁内推進体制の連携状況が分かるような図が必要。
- ・流域協議会などとの連携がわかりにくい。